



概要

- 気温の上昇は、河川や湖沼・ダム湖等の水温を上昇させ、水質を悪化させる可能性があります。そのため、水質の保全・浄化等の技術が適応にも役立ちます。
- 例えば、浄水場に、活性炭注入設備や高度浄水処理施設が導入されていますが、これらの技術は、気温上昇による水質悪化への備えにつながります。
- 気候変動は、降水量・積雪量の減少や無降雨日数の増加による渇水も引き起こす可能性があります。渇水時の危機管理体制の整備、水の効率的利用、雨水・再生水の利用、節水の普及等は、渇水への適応効果も持っています。

出典：
 ・東京都墨田区ホームページ内「雨水利用」
http://www.city.sumida.lg.jp/kurashi/kankyuu_hozen/amamizu/index.html
 ・福島県水資源総合計画「新生ふくしま水プラン」(平成25年3月、福島県)
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/65527.pdf>

雨水タンクの設置助成(東京都墨田区 等)

**雨水タンク
設置助成のご案内**
 (墨田区雨水利用促進助成制度)

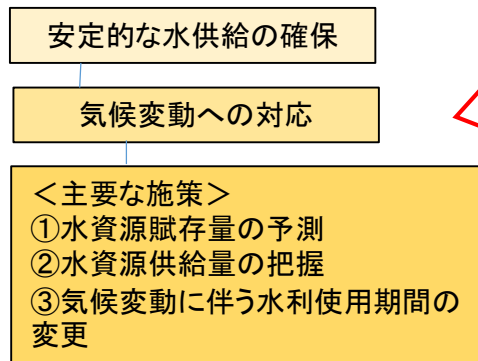
～ 墨田区が発信した雨水利用は、世界に広がっています。～
 雨水にも一役を買う雨水タンク、設置してみませんか? ～

雨水利用は、まさに小さなダムをつくり、水源を確保します
 雨水利用は、雨水をためるので、都市の洪水防止につながります
 雨水利用は、災害のとき、初期消火の水や生活用水に使えます

助成を受けることができる方
 墨田区内に雨水タンクを設置する方
 × 次の方は対象がです
 ・ 国、地方公共団体、その他の公共団体
 ・ 条例や要綱などにより、雨水タンクを設置する方

雨水タンクの設置助成制度を導入してる自治体が多くあります。雨水タンクを設置することにより、渇水時・災害時の雨水の有効活用や、下水道・河川へ流れる雨水を低減させることで、都市型洪水の軽減につながります。

水プランにおける気候変動への対応の位置づけ(福島県)



総合的な水資源政策の指針となる「うつくしま水プラン」で、「安定的な水供給の確保」の中に気候変動への対応を位置づけ、農業用水の水利使用期間の変更等の施策を示しています。